

2007 年度

科目名 ワークショップ論	対象学科・学年 人間社 1 回生	担当者 次田 健作 村尾 敏彦
授業テーマ 実際に自分の身体と心を使って、楽しくワークショップの手法を学びながら、自分と社会についての新たな向き合い方を探る。		
授業の概要と目標 ワークショップとは、人・世界・社会・モノ・文化・などへの直接的・間接的参加を通して、参加者一人ひとりの身体（ボディ）と精神（マインド）と技術（テクニク）を用いた協同作業・学習・実践です。受講生たちのボディとマインドとテクニクの組み合わせの繰り返しによって、受講生のあいだに相互信頼と新しい関係が生み出され、既成の価値観に変化をもたらすことによって、新しい視点に立って自分と他者の尊厳に気づくようになることを目指します。		
評価方法 毎回の授業の「ふりかえり」を書いてもらい、その半期全体の自分の資料を基に自己評価のレポートを提出してもらい、教員はそれを基に評価をします。		
テキスト 特にテキストは使用しない	著者	出版社
参考書 必要があれば、その都度授業中に指示する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. はじまりのゲーム——アイスブレイキングの手法 2. ワークショップとは何か？ 3. 石のワークショップ①——川原で石を拾う 4. 石のワークショップ②——ストーンペインティング 5. 声とことばのワークショップ——呼びかけのレッスン、歌とことば 6. 吹き矢のワークショップ——がんばらないで持続する方法を学ぶ 7. 文字のワークショップ——筆で書く、心で書く文字 8. 音楽のワークショップ——リズムをつくる 9. 身体表現のワークショップ①——群像をつくる 10. 身体表現のワークショップ②——即興でシーンをつくる 11. 身体表現のワークショップ③——ストーリーをつくる 12. 身体表現のワークショップ④——キャラクターをつくる 13. 身体表現のワークショップ⑤——みんなで一人ずつ仮面をつくる 14. 身体表現のワークショップ⑥——仮面劇 15. 授業のまとめとディスカッション		